

## 議案第38号

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

上記の議案を提出する。

令和5年9月6日

提出者 目黒区長 青 木 英 二

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

職員の給与に関する条例（昭和28年10月目黒区条例第14号）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当」を「特定新型インフルエンザ等対策派遣手当」に改める。

第11条第2項第1号中「同じ。）」の次に「又はパートナーシップ関係（双方又はいずれか一方が性的マイノリティであり、互いを人生のパートナーとして、相互の人権を尊重し、日常の生活において継続的に協力し合うことを約した二者間の関係その他の婚姻関係に相当すると任命権者が認める二者間の関係をいう。）の相手方（以下「パートナーシップ関係の相手方」という。）」を加える。

第12条の3第1項第2号中「（配偶者の）」を「又はパートナーシップ関係の相手方（配偶者及びパートナーシップ関係の相手方のいずれも）」に改める。

第13条の2第1項及び第2項中「配偶者」の次に「又はパートナーシップ関係の相手方」を加える。

第28条第1項第1号中「第44条」を「第26条の8」に、「新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当」を「特定新型インフルエンザ等対策派遣手当」に改める。

付 則

（施行期日）

1 この条例は、令和5年10月1日から施行する。ただし、第2条第1項及

び第28条第1項第1号の改正規定は、公布の日から施行する。

(職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正)

2 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（平成30年3月目黒区条例第2号）の一部を次のように改正する。

付則第11項中「引き続き」の次に「、配偶者を有しない場合（職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（令和5年 月目黒区条例第 号）の施行の日以後にあっては、配偶者及びパートナーシップ関係（双方又はいずれか一方が性的マイノリティであり、互いを人生のパートナーとして、相互の人権を尊重し、日常の生活において継続的に協力し合うことを約した二者間の関係その他の婚姻関係に相当すると任命権者が認める二者間の関係をいう。）の相手方（以下「パートナーシップ関係の相手方」という。）のいずれも有しない場合）で、かつ」を加える。

付則第12項中「が配偶者」の次に「又はパートナーシップ関係の相手方」を加える。

付則第14項中「配偶者」の次に「又はパートナーシップ関係の相手方」を、「生じた日」の次に「（職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（令和5年 月目黒区条例第 号）の施行の日前にパートナーシップ関係の相手方を有するに至った場合は、同日）」を加える。

(説明) 扶養手当等の支給において、パートナーシップ関係の相手方を配偶者と同等の取扱いとするとともに、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法の一部を改正する法律（令和5年法律第14号）の施行に伴い、規定の整備を行うため、条例改正の必要を認め、この案を提出します。